

鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）に関するパブリックコメント手続の実施結果について

- 1 意見の募集期間 平成24年12月21日（金）～平成25年1月25日（金）（36日間）
- 2 意見の提出者数 21人
- 3 意見の件数 94件
- 4 意見の処理状況

項目 処理区分	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	2 「緑の空間」ゾーン	3 「市・にぎわい」ゾーン	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	5 その他全般	計
A 意見の趣旨等を反映し、案に盛り込むもの		1件	1件	1件	1件	4件
B 意見の趣旨等は、素案に盛り込み済みのもの	4件	3件	3件	1件	6件	17件
C 案には盛り込まないもの		3件	2件		5件	10件
D 具体的な事業の立案・実施に当たり参考にするもの	2件	4件	9件	9件	4件	28件
E その他意見・要望等	6件	2件	4件	10件	13件	35件
計	12件	13件	19件	21件	29件	94件

鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）に関するパブリックコメント手続の実施結果について

項目	件数
1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	12
2 「緑の空間」ゾーン	13
3 「市・にぎわい」ゾーン	19
4 「交通結節・駐車場」ゾーン	21
5 その他全般	29
計	94

処理区分	件数
A 意見の趣旨等を反映し、案に盛り込むもの	4
B 意見の趣旨等は、素案に盛り込み済みのもの	17
C 案には盛り込まないもの	10
D 具体的な事業の立案・実施に当たり参考にするもの	28
E その他意見・要望等	35
計	94

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
1	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	昔、本駅（ホンエキ）と呼ばれていた鹿児島駅周辺と上町（カンマチ）の活性化につながる良い計画だと思う。	B	賛同のご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としております。
2	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	いずれも充分理解できるものであり、多くの賛同を得られるものと思う。各ゾーンも現時点で考えられることを包含していると思う。	B	賛同のご意見として承ります。
3	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	浜町1番5の土地利用計画が上町地区の歴史・自然環境等の魅力を発信する拠点になる。	B	賛同のご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としております。
4	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	概ね異論はない。鹿児島駅は、JR九州が2013年1月15日より運行を予定している、クルーズトレインなつ星in九州の停車駅にも予定されており、鹿児島第二の玄関口としての役割が求められる。	B	賛同のご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としております。
5	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	鹿児島駅周辺の地域活力が低下してきている現在、箱物に多額の費用を費やすのではなく、計画地を利用して鹿児島固有の地域資源を活かしてゆければ、多くの人を集めるきっかけになることが期待できる。	D	今後の具体的な計画、設計等を進める中で費用面にも配慮しながら鹿児島固有の地域資源を生かした整備について検討してまいります。
6	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	上町地区の活性化につなげるために、計画地は、鹿児島駅や市電、バス、フェリーなどに近接しており、非常に利便性の高い場所であるため、緑地だけで人が集まるのか疑問である。投資も膨らむとは思いますが、現在の計画よりもさらに大きな全天候型の多目的広場にしたい方が天候に左右されず、本当の意味で地域の活性化に寄与できると思う。	D	基本計画（素案）では、様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園や各種イベント等で利用できる広場等を計画しております。 屋根付きのイベント広場につきましては、天候や降灰に関わらずイベントなど多目的に利用できることを計画しておりますが、規模や配置等の詳細については今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
7	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	「観光」「医療」「福祉」「運動・スポーツ」「公園・緑地」など、全てを網羅することは出来ない。よって、安らぎ憩い、健康増進、イベント利用等を中心とし、観光物産も狙おうとする考え方は、理解出来ないではない。しかし、特別、真新しい施設でもなく、これにより鹿児島駅周辺が活性化するか？と尋ねられれば、疑問ではある。 また、鹿児島県が推進する施設（鹿児島ふれあいスポーツランドや、吉野公園等）との兼ね合いも、現状では分かり難い。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、魅力ある施設整備に向けて取り組んでまいります。 また、都市の杜については、J T跡地や市電軌道敷緑化、市役所周辺などと連携した「花と緑の回廊」の創出を目指し、市民や地域住民等が憩い、安らげる花緑の拠点整備を行うこととしており、具体的な施設の配置等については、今後、計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
8	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	市街地のそばに有り、誰でも行きやすい。上町、吉野、市街地、桜島、始良の交通の便が良く、鹿児島島の誇り尚古集成館との交通との連携再考。上町は鹿児島駅に指宿線、鹿児島本線を引くと観光客が来るのでは？	E	ご意見として承ります。 なお、基本計画（素案）では、「交通結節・駐車場」ゾーンにおいて、隣接ゾーンの利用者を主とし、パークアンドライド等でも利用できる普通車駐車場や、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしております。
9	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	概ね了とする。完成後の人の動向、電車路線変更、桜島ー鹿児島間開通（鹿児島県に1月中旬頃調査報告書が提出されているはず）は加味されているか。	E	ご意見として承ります。 計画地への人や車等の動線については、周辺の交通環境を勘案して駅前広場等の周辺の基盤整備と連携するとともに、関係機関等との協議を行い、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
10	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	土地利用が他地区と孤立しないように、通路が周辺地域を取り込んだ回遊式庭園動線であること。	E	ご意見として承ります。 鹿児島駅周辺の歩行者ネットワークにつきましては、「5-4整備計画（2）全体計画」に記載の「東西をつなぐ歩行者動線」や「計画地と駅前広場の接続道路」等の設置に向けた関係機関等との協議や検討を行っており、既存道路との接続により、上町の歴史資源等への円滑な移動についても可能となるよう取り組んでいるところです。
11	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	今回の鹿児島駅周辺土地利用基本計画は、上位となる第5次鹿児島市総合計画に沿って、鹿児島駅の位置、周辺地域の状況を分析した上での計画と感じた。土地計画完成後、人を呼び込み、周辺地域に波及させていくかが「カギ」になると思った。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、魅力ある施設整備に向けて取り組んでまいります。
12	1 策定の目的、計画地の現況等、土地利用の基本コンセプト・基本方針	当地域が当市発展や街づくりの元祖であることに際し、利用計画にはややパンチ不足の感が免れない。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園や各種イベント等で利用できる広場等を計画しております。 今後も、様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、取り組んでまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
13	2 「緑の空間」ゾーン	眺望に十分配慮した緑の空間づくりにする。	A	ご意見の趣旨を踏まえ、基本計画（案）の「緑の空間」ゾーンの「整備の方向」における文言の表現を以下の通り修正します（下線部分の修正）。 ※11ページ、13ページ （修正前） ・誰もが安全安心に使えるよう、多目的トイレの設置や夜間照明等に配慮した計画とする。 ↓ （修正後） ・誰もが安全安心に使えるよう、多目的トイレの設置や夜間照明等に配慮するとともに、眺望を含めた周辺環境との調和に配慮した計画とする。
14	2 「緑の空間」ゾーン	鹿兒島駅周辺には、緑地公園が少なく、憩いの場としてありがたい。また、芝生広場が整備されたら幼い子ども遊び場として積極的に利用できる。	B	賛同のご意見として承ります。 「緑の空間ゾーン」の都市の杜については多世代の市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園として整備してまいります。
15	2 「緑の空間」ゾーン	お年寄りの散歩や小さい子供をもつ親子の安心安全な場所になればと思う。	B	賛同のご意見として承ります。 「緑の空間ゾーン」の都市の杜については多世代の市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園として整備してまいります。
16	2 「緑の空間」ゾーン	いいと思う。	B	賛同のご意見として承ります。
17	2 「緑の空間」ゾーン	安らぎ・憩い、健康増進・スポーツ等の「かけ声」は理解出来るが、具体性に乏しい。また、既存の施設（市が所有しているものばかりでなく、県の施設等）との差別化といった点が、明確ではない。	C	「緑の空間」ゾーンにおける都市の杜については、J T跡地や市電軌道敷緑化、市役所周辺などと連携した「花と緑の回廊」の創出を目指し、市民や地域住民等が憩い、安らげる花緑の拠点整備を行うこととしており、施設の配置等については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
18	2 「緑の空間」ゾーン	近場に車に神経を使うことなく散歩が楽しめる場所が出来るのは楽しみである。犬を飼っているが、散歩のため健康の森公園まで出かけて行くこともある。ペット連れの観光客のために桜島PAにあるドッグランがあると宣伝にもなるのではと思う。高齢者の憩いの場所にして欲しい。	C	「緑の空間」ゾーンにおける都市の杜において、公園管理者としてはドッグランの設置は計画しておりません。他の公園と同様にルールやマナーを守って散策等に利用していただくこととなります。
19	2 「緑の空間」ゾーン	当市「北の玄関口」という点から、旧国鉄の諸々の機関が本市と吉松町にあったことから、SLの基地をつくり、動態保存し、交通博物館誘致の促進を図り、炎の街としたい。	C	基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」とし、「緑の空間」ゾーンの都市の杜については、J T跡地や市電軌道敷緑化、市役所周辺などと連携した「花と緑の回廊」の創出を目指し、市民や地域住民等が憩い、安らげる花緑の拠点整備を行うこととしております。 このようなことから、ご提案のような交通博物館等は現在のところ計画していません。 なお、「市・にぎわい」ゾーンにおいては、当該地域で行われてきた市（いち）を背景として、各種イベント等を開催する場をつくり、様々な来街者による、にぎわい・交流の創出を図ることとしております。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
20	2 「緑の空間」ゾーン	特に無目的な人が集まりやすく、一般の人が利用しにくくなることを想定しておくことも必要ではないか。	D	都市の杜については、都市公園として適切な管理に努めるとともに、その他のゾーン全体と連携した管理運営に関して今後検討してまいります。
21	2 「緑の空間」ゾーン	鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）8ページに、上町地区には緑が不足しているとあるが、周辺には本港区や石橋記念公園、多賀山公園、祇園之洲公園と同様の施設が現在でも多数存在している。鹿児島駅周辺には本港区や石橋記念公園、多賀山公園、祇園之洲公園と同様の施設が現在でも多数存在している。これに加えて新たに緑の空間を整備するのであれば、芝生よりアコウやマツなど樹木を多くする、亜熱帯の植物を取り入れるなどの差別化が必要だろう。	D	都市の杜は、JT跡地や市電軌道敷緑化、市役所周辺などと連携した「花と緑の回廊」の創出を目指し、市民や地域住民等が憩い、安らげる花緑の拠点整備を行います。樹木等の種類や配置については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
22	2 「緑の空間」ゾーン	くり、どんぐり、また小鳥が集う、くろがねもち等の植栽はできないか。	D	樹木等の種類や配置については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
23	2 「緑の空間」ゾーン	どこにでもある普通の広場ならわざわざここまで来る人はいないと思う。デザイナーや企業に委託しておしゃれな空間にしてみたい。子供連れが楽しめるような（例えばカフェ等）広場だといいなと思う。	D	基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、魅力ある施設整備に向けて取り組んでまいります。 施設の配置等については、今後の計画において検討してまいります。
24	2 「緑の空間」ゾーン	上町は、城山、吉野等緑は多い。始良から吉野を通る観光道路を作れば錦江湾、桜島等の眺望は素晴らしい。	E	ご意見として承ります。 始良から吉野を通る道路については、現在、吉野町花倉～小川町間で計画されている国道10号鹿児島北バイパスにおいて、平成5年度に0.9kmが暫定供用、平成11年度に0.3kmが完成供用しており、残区間について整備の検討が進められている状況です。
25	2 「緑の空間」ゾーン	「都市の杜」は、JT跡地にも計画され、市電の沿線でもあることから鹿児島駅の「緑の空間」は、JT跡地と差別化を図るのか連携するような場所になるのか、注目したい。	E	ご意見として承ります。 都市の杜については、JT跡地や市電軌道敷緑化、市役所周辺などと連携した「花と緑の回廊」の創出を目指し、市民や地域住民等が憩い、安らげる花緑の拠点整備を行うこととしており、具体的な施設の配置等については、今後、計画・設計等を進める中で、検討してまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
26	3 「市・にぎわい」ゾーン	全天候型イベント会場は桜島への景観を壊さないような建物を考えて欲しい。	A	ご意見の趣旨を反映し、基本計画（案）の「市・にぎわい」ゾーンの「整備の方向」における文言の表現を以下のとおり修正します（下線部分の修正）。 ※11ページ、13ページ （修正前） ・今後の具体的な計画・設計等の中で、桜島を眺望できる展望スペースの設置を検討する。 ↓ （修正後） ・今後の具体的な計画・設計等において、周辺の景観に配慮するとともに、桜島を眺望できる展望スペースの設置を検討する。
27	3 「市・にぎわい」ゾーン	鹿児島駅周辺には、イベントや催しを開催するにもスペースが少なく、小規模なものになっているが、「市・にぎわい」ゾーンが整備されたら、規模の拡大が期待できる。 現在、福昌寺跡や南洲神社の周辺の街歩きイベントの集合場所に、かごしま県民交流センターを利用しているが、「市・にぎわい」ゾーンや駐車場が整備されたら同地区に近く、集合場所にも最適である。	B	賛同のご意見として承ります。 「市・にぎわい」ゾーンについては、各種イベントや催しの開催等多目的な利用できるイベント広場として、また、「交通結節・駐車場」ゾーンについては来街者の駐車場として計画しております。
28	3 「市・にぎわい」ゾーン	吉野、桜島、始良の産物の青空市（女性の料理、産物、ミソ、菓子等の教室）	B	「市・にぎわい」ゾーンにおいては、軽トラ市、フリーマーケット、展示会など各種イベントや催しの開催等多目的に利用できる屋根付き、屋外のイベント広場を計画しております。
29	3 「市・にぎわい」ゾーン	いろんなイベント等を行うようになれば、交通の便が良い地域なので、たくさんの人出でにぎわうと思う。	B	賛同のご意見として承ります。 「市・にぎわい」ゾーンについては、各種イベントや催しの開催等多目的な利用できるイベント広場として計画しております。
30	3 「市・にぎわい」ゾーン	数量・規模に、収容人員の表示はできないか。	C	収容人数については、1㎡あたりの人数を設定することにより算出することも考えられますが、利用する目的や開催イベントの形態によって利用者数が異なること、また、各施設の規模や配置等の詳細については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で検討することから記載していないところです。
31	3 「市・にぎわい」ゾーン	温泉、足湯、温水プール（老人の水中歩行）、古武道（じげん流）練習所、弓道、柔道場、保健所、老人の室内運動器具、グラウンドゴルフ場、カラオケ施設、囲碁将棋会場、諸講座会場等	C	基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」とし、「市・にぎわい」ゾーンにおいては、当該地域で行われてきた市（いち）を背景として、各種イベント等を開催する場をつくり、様々な来街者による、にぎわい・交流の創出を図ることとしております。 このようなことから、ご提案のような温泉施設や古武道等の練習場、室内の運動器具、保健所、カラオケ施設、囲碁将棋会場、諸講座会場等は現在のところ計画していないところです。 なお、グラウンドゴルフについては、広場の維持管理、運営体制等を勘案しながら、今後、具体的な計画・設計等を進める中で検討してまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
32	3 「市・にぎわい」ゾーン	道の駅的な施設ができると観光客や市内の人も行楽の帰りに立ち寄ってくれて、ついでに緑の空間ゾーンで遊んで行ってくれるのではと思う。	D	「市・にぎわい」ゾーンの中核的な複合施設の利用形態や規模などについては、今後、必要な調査等を行い、その中で検討することとしております。
33	3 「市・にぎわい」ゾーン	市指定無形民俗文化財「おぎおんさあ」に関する諸道具等の展示や歴史の説明など、上町で古くから営まれてきた伝統行事を体感することのできる場を設定してほしい。	D	基本計画（素案）では、「市・にぎわい」ゾーンの屋根付き、屋外のイベント広場において、地域伝統芸能・音楽等の披露など多目的な利用を想定しております。 上町地区に関わる伝統行事を体感する場の充実につきましては、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
34	3 「市・にぎわい」ゾーン	話題性がないと活気は戻らないと思う。大々的にイベントをさすれば、その際、音響システムは特に注意が必要かと。	D	様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、屋根付きのイベント広場等を設置するなど魅力ある施設整備に取り組んでまいります。 なお、音響を含めた各施設の規模や配置等については、頂いたご意見を参考に、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
35	3 「市・にぎわい」ゾーン	屋根付きイベント広場は単なるホール建築物でなく、屋根が芝生で覆われた建物でその屋根には人々が自由に入れ、休憩・眺望できるようにする。（例えば、かごしま環境未来館の建物）	D	施設の外觀や形状等については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、安全や維持管理面を勘案しながら取り組んでまいります。
36	3 「市・にぎわい」ゾーン	中核的複合施設には、さるっきんぐの拠点となるような施設が望まれる。ガイドが常駐し、休憩施設（入浴・更衣などができるとなおよい。）を備えた施設とする。石造か木造、またはそれに似せた意匠、もしくは鹿児島県立博物館考古資料館など古い建物の移築、赤倉病院など上町に存在した歴史的建物の復元としたい。	D	「市・にぎわい」ゾーンの中核的な複合施設の利用形態や規模などについては、今後、必要な調査等を行い、その中で検討することとしております。
37	3 「市・にぎわい」ゾーン	桜島の展望スペースの設置に当たっては、①貨物・ロードサイド店舗を気にせず、桜島と錦江湾を見渡せるようにすること、②鹿児島駅の近くにあり、より桜島をよく見ることができる本港区のウォーターフロント地区との差別化を図ることが求められる。	D	「市・にぎわい」ゾーンにおける、桜島を眺望できる展望スペースについては、今後、具体的な計画・設計等を進める中で設置を検討してまいります。
38	3 「市・にぎわい」ゾーン	イベント広場だが、鹿児島には本格的な野外劇場が存在しない。ここに野外劇場を設け、晴天時は野外、雨天、降灰時は屋根の下をかつようするようにしたい。	D	「市・にぎわい」ゾーンにおけるイベント広場については、天候や降灰に関わらずイベントなど多目的に利用できる屋根付きのイベント広場や屋外のイベント広場を計画しております。施設の規模や配置等の詳細については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
39	3 「市・にぎわい」ゾーン	観光・物産スペースでは、上町地区を中心に、郷土の文化、芸能を紹介する展示コーナーを設置して欲しい。例えば、おはら祭や祇園祭etc、他県に誇れる祭事をPRできる場所（コーナー）の設置を是非検討して欲しい。また、計画にある屋内イベント広場は賛成だが、前述のとおり広さが小さすぎて、大きな集客イベントが組めない。	D	基本計画（素案）では、「市・にぎわい」ゾーンの屋根付き、屋外のイベント広場において、地域伝統芸能・音楽等の披露など多目的な利用を想定しております。 「市・にぎわい」ゾーンの中核的な複合施設の利用形態や規模などについては、今後、必要な調査等を行い、その中で検討することとしております。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
40	3 「市・にぎわい」ゾーン	今後検討となっている屋根付きイベント広場は夜に行われるイベント（夏祭りやライブコンサート等）に対応できるように防音や照明に配慮した施設になればと思った。	D	屋根付きのイベント広場につきましては、天候や降灰に関わらずイベントなど多目的に利用できることを計画しておりますが、防音や照明を含め規模や配置等の詳細については今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
41	3 「市・にぎわい」ゾーン	あまり人が行く所ではないので、多額のお金は使わないで欲しい。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、効果的かつ効率的な施設となるよう取り組んでまいります。
42	3 「市・にぎわい」ゾーン	公園のような「緑の空間ゾーン」に依存した物産程度では、集客力はない。 思い切った手法が必要だと思う。「地域住民の交流・コミュニティスペース」と銘打っても、何のことだか、理解できない。	E	ご意見として承ります。 地元住民や様々な来街者によるにぎわい・交流の創出を図るため、緑豊かな公園や屋根付きイベント広場など各種イベント等を開催する場をつくるとともに、「市・にぎわい」ゾーンの中核的な複合施設の利用形態や規模などについては、今後、必要な調査等を行い、その中で検討することとしております。
43	3 「市・にぎわい」ゾーン	鹿児島駅周辺の商店会や、通り会・町内会・各種団体が催し物を実践しやすくするために、市が指導権・管理権を持つ管理棟（鹿児島駅前に観光案内所を設置する）を設け、上記団体に運営を任せる。	E	ご意見として承ります。 なお、基本計画（素案）においては、計画地の整備、維持管理・運営については、行政が行うことを基本としながら、民間活力を活用した適切な維持管理運営体制の構築に向けて今後検討を行うこととしております。 観光案内所につきましては、観光客の動向なども踏まえながら、全市的な観点からその必要性を検討してまいります。
44	3 「市・にぎわい」ゾーン	案ではやや非力。駅周辺地には在った方が自然環境上はもちろん、また、景観条例上もその方がよい。	E	ご意見として承ります。 計画地においては、鹿児島駅とのアクセスを考慮して駅から最も近い位置に「市・にぎわい」ゾーンを配置しているところです。
45	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	計画されている駐車場の位置は、その大部分が鹿児島駅2番ホームの真横に接する形となる。 すなわち、遠方からの鹿児島駅利用者が、鹿児島に到着して初めて目にするのが駐車場ということになる。現在のまま位置を変えないのであれば、十分景観に配慮した駐車場（植栽の多用や石畳などによる舗装等、立体駐車場であれば壁面緑化など）にする必要がある。	A	ご意見の趣旨を反映し、基本計画（案）の「交通結節・駐車場」ゾーンの「整備の方向」における文言の表現を以下の通り修正します（下線部分の追加）。 ※11ページ、14ページ （修正前） 緑化等を行い、環境に配慮する。 ↓ （修正後） 緑化等を行い、景観や環境に配慮する。
46	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	同地区には、観光地に見られる大型車駐車場の駐車場はなく、これが整備されたら団体の観光客を呼び寄せるきっかけになる。	B	賛同のご意見として承ります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
47	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	駐車場に関して、駐車券をとって受付でスキャンさせる。(山下町の市役所と同じ方法)もしくは30分間を無料にし、30分を過ぎたら30分ごとに100円の有料にさせる。	D	基本計画(素案)では、隣接ゾーンの利用者等のための普通車駐車場などを設けることとしておりますが、駐車場の運営計画につきましては、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
48	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	イベントがあるたびに、「公共交通機関を」というのは、イベントの活性化とならない。大規模な駐車場を有することは、今後の施設としては必要不可欠と思われる。	D	基本計画(素案)では、駐車場の台数について、現在、計画している整備施設や計画地周辺に公共交通機能が集積している環境等を踏まえ、100台程度としておりますが、必要な台数等については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
49	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	大隅半島への通勤者が通勤用に駐車することも考えられる。特定の人だけが優遇されることのないように配慮が事前に必要だと思う。	D	基本計画(素案)では、隣接ゾーンの利用者等のための普通車駐車場などを設けることとしておりますが、駐車場の運営計画につきましては、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
50	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	観光案内所(観光案内ボランティアの研修施設)、観光バスの発着所(中央駅西口は満杯) 上町はサツマ Chest の風土が唯一残る 桜島、仙巖園、南洲、東郷、鶴丸城跡、福昌寺跡等々	D	観光案内所につきましては、観光客の動向なども踏まえながら、全市の観点からその必要性を検討してまいります。 基本計画(素案)では、「交通結節・駐車場」ゾーンにおいて、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしております。 なお、鹿児島中央駅の西口駅前広場のバスプールについては、県において県工業試験場跡地の一部に暫定的に待機所を整備予定であり、駅前広場と一体的に活用することについて協議を行っているところです。なお、鹿児島中央駅前広場の渋滞解消については、今後とも関係機関と協議を重ね改善にむけて取り組んでまいります。
51	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	利用者が確実に駐車できるよう、満車時の他の駐車場への案内システムを設けるとともに、二層式の立体駐車場とするなど、駐車台数をもっと増やすべきではないか。ただし、立体駐車場の場合は、一層を半地下とし、ホームからの桜島の景観を遮ることのないようにしなければならない。	D	基本計画(素案)では、駐車場の台数について、現在、計画している整備施設や計画地周辺に公共交通機能が集積している環境等を踏まえ、100台程度としておりますが、必要な台数等については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
52	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	また従来の駐車場の概念にとらわれず、かごしま環境未来館の駐車場のよう、広場と駐車場を折衷したような設備とすれば、殺風景でない。駐車場をそのまま軽トラ市の会場とすることもできる。	D	交通結節・駐車場ゾーンにおいては、樹木の植栽などの緑化等を行うこととしておりますが、詳細については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。
53	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	列車・バス・市電への乗り継ぎ移動の通路は雨天時に支障が無く傘等が無しで移動できるように。又、高齢者・身障者に配慮した通路であってほしい。	D	「5-4 整備計画(2) 全体計画」に記載の計画地と鹿児島駅前広場の接続道路については、融合を考慮した歩道幅員とする等、高齢者、身障者等の移動が円滑になされるよう配慮してまいります。
54	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	全体的に駐車場は少ないのではないかと。	D	駐車場の台数については、現在、計画している整備施設や周辺の公共交通機能が集積している環境等を踏まえ、100台程度としておりますが、必要な台数については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
55	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	「交通結節」とあるが、この駐車場からJR鹿児島駅や電停までは移動距離が結構長いように思われ、結節点としては難があるのでは。バス停を新設するなら多少改善されるかもしれないが。	D	基本計画（素案）では、駐車場については、隣接ゾーンの利用者を主としておりますが、パークアンドライド等でも利用できる普通車駐車場として、また、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしておりますことから、「交通結節・駐車場」ゾーンとしております。 また、駐車場を含む計画地から路線バスの停留所等のある鹿児島駅前広場にアクセスする接続道路について、関係機関等との協議を実施しております。
56	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	多くの人が利用するか、ちょっと疑問である。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、効果的かつ効率的な施設となるよう取り組んでまいります。
57	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	福昌寺跡や南洲神社の周辺には、駐車スペースが少なく自家用車での観光には不向きであるが、普通車駐車場とシティビューのバス停を組み合わせることで福昌寺跡等の史跡を売りだしやすくなる。また、同地区への車の流入を抑え、静かで安全な住宅地を期待できる。	E	ご意見として承ります。
58	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	いろんなバスツアーの集合場所が中央駅西口に集中していて、駐車スペースもあまりなく夕方は渋滞することもあるのでここを一部集合場所にしてはどうか。	E	ご意見として承ります。 なお、鹿児島中央駅の西口駅前広場のバスプールについては、県において県工業試験場跡地の一部に暫定的に待機所を整備予定であり、駅前広場と一体的に活用することについて協議を行っているところです。なお、鹿児島中央駅前広場の渋滞解消については、今後とも関係機関と協議を重ね改善にむけて取り組んでまいります。
59	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	コミュニティーバスを利用したワンコインの観光バスの発着所にしたらおもしろいと思う。以前TVで始良かどこかのそんなバスの紹介をしていた。近場の多賀山、石橋公園、福昌寺跡、南洲神社等、フェリーから降りて利用しやすいのでは。	E	ご意見として承ります。
60	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	鹿児島駅は、バス、市電、JR、駐車場と多くの交通機関の結節点となっており、パークアンドライド・バスアンドライド・ライドアンドライドの全てに対応できる。 パークアンドライドでは、なるべく中心部に自家用車を進入させないことが大事であり、中心部のコインパーキングにないメリットをつけなければ、効果は薄い。利用者への市電の割引（格安の一日乗車券の提供等）が考えられる。	E	ご意見として承ります。 なお、基本計画（素案）では、駐車場については、隣接ゾーンの利用者を主としておりますが、公共交通機能が集積している鹿児島駅周辺の特性を生かし、パークアンドライド等で利用できる普通車駐車場や、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしております。
61	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	今回対象の土地ではないが、現在の鹿児島駅前バス停は、JRバスの乗り場と、それ以外の会社の乗り場、降車場の三箇所に分散している。とくにJRを除くバス停は駅舎・市電乗り場から離れており、バス停まで屋根がないなど、雨天時・降灰時の乗り換えに大変不便である。結節点としての役割を高めるのであれば、計画地の利用を含めて、これを解消することがまず望まれる。	E	ご意見として承ります。 鹿児島駅周辺の基盤整備におきましては、鹿児島駅前広場等の基盤整備について、現在、事業実現に向けた調査検討や関係機関との協議を進めており、その中で、利便性の確保を図ってまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
62	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	市電・市バスが鹿児島駅を発着・終着にすることから、浜町1番5の利用者の増加が見込める。	E	ご意見として承ります。 鹿児島市電は、現在、鹿児島駅を起終点としておりますが、市営バスについては、市役所前を起終点とする路線が大半であり、鹿児島駅前を起点とする路線については、今後、運行の効率化と利用者の利便性を考慮しながら検討してまいります。
63	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	「パークアンドライド」が重要であることに言を待ちませんが、今計画の場合、どの方角からのアクセスを前提にしているのか。当該場所へのアクセス道路があまりに不備である点、改善の余地があるのか。また、仮に、この駐車スペースが出来た場合、そこに駐車した人たちをどこに導くのか。それが天文館などを含む中心市街地なら市電へのアクセスがいかに難しい。降灰や雨降りを想定した誘導路なしには意味をなさないだろう。	E	ご意見として承ります。 計画地への車両アクセスについては、鹿児島駅前交差点の信号交差点化や既存駅前広場の改修を、歩行者動線については、「5-4整備計画(2)全体計画」に記載の「東西をつなぐ歩行者動線」や「計画地と鹿児島駅前広場をつなぐ接続道路」の整備実現に向けた関係機関等との協議や調査検討を行っております。
64	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	「パークアンドライド」は郊外の鉄道駅などにおいて設置されるイメージを私は持っており、これだけ都心に近い所での「パークアンドライド」はやや奇異に感ずる。同じように奇異に感ずる例として、鹿児島中央駅の「パークアンドライド」をJR九州さんが謳っているが、これもまちづくりで言う一般的な「パークアンドライド」(街中での公共交通の有効活用)とは意味合いが異なっている。パークアンドライドを導入する場合、誰が(どこの住民が)それを利用し、それが鹿児島駅周辺や中心市街地にどのような好影響を与えるか考慮したうえで進めたほうがよいのでは。(私見ですが、おそらくこの駐車場利用者の大半は、計画にある緑地やイベント広場に行く人になるのではと感じた。)	E	ご意見として承ります。 なお、パークアンドライドは鉄道駅やバス停まで自家用車を利用し、周辺の駐車場に駐車して、そこから鉄道やバスを利用することです。 基本計画(素案)では、駐車場について、隣接ゾーンの利用者を主としておりますが、公共交通機能が集積している鹿児島駅周辺の特性を生かし、パークアンドライド等でも利用できる普通車駐車場や、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしております。
65	4 「交通結節・駐車場」ゾーン	旧国鉄の日豊本線、肥薩線、さらに対岸の桜島への足がかりという見地からすれば、やや提案の機能が弱い。	E	ご意見として承ります。 なお、基本計画(素案)では、「交通結節・駐車場」ゾーンにおいて、隣接ゾーンの利用者を主とし、パークアンドライド等でも利用できる普通車駐車場や、中心市街地、世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車駐車場を設けることとしております。
66	5 その他全般	高齢者が歩くのに抵抗を感じるという50メートルおきに、ベンチや腰掛けられる花壇、石など置き、無理なく計画地を回れるようにしたい。	A	ご意見の趣旨を反映し、基本計画(案)の「市・にぎわい」ゾーンの「整備施設」に、多世代の来街者が休憩できるよう「ベンチ」を追加し、以下の関連箇所を修正します。 ※11ページ 「市・にぎわい」ゾーンの「整備施設」欄 ※12ページ 全体平面イメージ ※13ページ 「市・にぎわい」ゾーンの「規模・数量」欄及び配置イメージ、断面イメージ ※15ページ 「(4)動線計画」における図面

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
67	5 その他全般	イベント利用型公園 ・観光、展示会、地域伝統芸能交流、NPO活動 ・防災、救命講習、訓練	B	基本計画（素案）では、軽トラ市、フリーマーケット、展示会、地域伝統芸能・音楽等の披露など各種イベント等を開催する場をつくり、様々な来街者による、にぎわい交流の創出を図ることとしております。 また、「緑の空間」ゾーンにおける都市の杜については、都市公園として整備することから、既存の公園と同様にイベント等については営利目的以外の催しとするなどの制約がありますが、「市・にぎわい」ゾーンと連携した活用が図られるよう施設の計画を検討してまいります。
68	5 その他全般	鹿児島市推進ウォーキング（案） ノルディックウォーキングの集い（ウォーキングコース）	B	「緑の空間」ゾーン、「市・にぎわい」ゾーンにおいて、ジョギング、ウォーキング等に利用できる一周約500mの園路を計画しております。
69	5 その他全般	他の地域にない豊かな地域資源を活用して、人が集まれば仕事生まれ雇用が生じる。そして、住民の流失が止まるだけでなく流入が起こり、地域の活力が高まることを期待できる。その拠点として、計画地の整備を一日でも早く進めてほしい。	B	賛同のご意見として承ります。 事業スケジュールのとおり、28年度の供用開始に向けて取り組んでまいります。
70	5 その他全般	レポートする施設ですね。	B	賛同のご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としております。
71	5 その他全般	昔の鹿児島駅の写真を見た時、列車が並んでここから旅の始まりというのが伝わってきた。そういう賑わいが少しでも戻って欲しい。上町が通過の場所ではなく目的に場所になれば楽しみである。	B	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としてあり、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、魅力的な施設となるよう取り組んでまいります。
72	5 その他全般	早期完成を地域住民は望んでいる。早期完成を願う。	B	ご意見として承ります。 事業スケジュールのとおり、28年度の供用開始に向けて取り組んでまいります。
73	5 その他全般	鹿児島駅周辺の衰退は淋しく思う。是非関係各位のみなさまの提案に期待したい。全く実現不可能かもしれないが、ドルフィンポート・水族館などと連携（回遊性）して人が集う場が出来ると賑わいもあるのではと感じる。例として、地下道で鹿児島駅前までつなぎ、その中で他で購入できない商品のブランド導入や屋根付きの全天候型イベントホールなど、特に若者をターゲットとした施設作りができれば、町も活性化するのではないかと思う。様々な施設をつくる事も全年齢を対象とするなら妥協しなければならない点もあるでしょうが、特化した特長のある施設作りもあっていいと思う。	C	周辺施設との地下道などのご提案につきましては、多額の事業費が必要となることなどから、現在の基本計画（素案）では計画していません。 なお、基本計画（素案）では、天候や降灰に関わらずイベントなど多目的に利用できる屋根付きのイベント広場を設けることとしております。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
74	5 その他全般	<p>現状上町地区の衰退は文化施策の衰退と考える。あれだけ栄えていた上町駅周辺が災害が起こったかのように衰退するさまは過去を知るわれわれ世代は見えていられない。</p> <p>鹿児島は文化に対して愛着がない。外部でそういった批判も聞いたことがある。福昌寺の門前を塞いで玉龍高校の創設も考えられなかった。城山にホテルが建ったとか祇園之洲に高層マンションが建って眺望がさえぎられるとか今となっては仕方ないが。鹿児島の文化力のなさを感じる。戦後行政の先人の貧困さを感じる。ピンチからチャンスに。</p> <p>玉龍高校を上町旧国鉄跡地に移したらどうか？磯から多賀山公園、祇園之洲、石橋公園そして福昌寺跡を含めて一帯を鹿児島の真髄の歴史文化地域として整備する。上町地域を鹿児島の文化地帯とする。</p> <p>中央駅以南は行政産業地域として住み分けて、上町を観光客誘致に生かす。ありきたりのスポーツ施設なんか要らない。又作るんかと思う。今述べたこの地域を散策する回廊コースの整備をすれば自然に散策と運動になる。サイクリングコースでもよい。</p>	C	<p>本市においては、伝統芸能や祭りなどの各地域で育まれてきた文化を守り育てる中で、文化振興を通じた元気な地域づくりに取り組んでおります。</p> <p>また、鹿児島玉龍高校は、中高一貫教育校として、共用の施設を活用するなど、現在地の利点を活かした特色ある学校づくりに取り組んでおり、基本計画（素案）では、「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」を土地利用の基本コンセプトとし、学校については計画していないところです。</p> <p>なお、スポーツ施設につきましては、基本計画（素案）を策定するにあたり、市民から頂いたご意見等を参考に、健康維持や交流のために軽易な運動ができる芝生広場等を計画しています。</p>
75	5 その他全般	<p>少なくとも、もうこれ以上、いわゆる箱物は作るべきではない。行政が箱物を作り、地域の活性化を図るというスタンスは、既に時代遅れではないだろうか。行政としては、非常に歯がゆいであろうが、ここは「広い土地があるから」何かを作るというのではなく、単純に民間に切り売りし財政悪化を防ぐ、守りの経営が必要なのではないか。</p> <p>現在の経済状況において、何かを作り活気を生もうという攻めの経営はリスクが大きすぎ、一市民としては不安である。中央駅・天文館周辺に比べ、鹿児島駅周辺を活性化させるべきという思いは理解出来るが、ここは伏して時期を待つべきだと思う。</p> <p>そう言った意味で、民間業者を募って、大規模商業施設（いわゆるアウトレット）等の誘致を行うということも、検討されてみては如何か。その方が、経済効果等は高いのではないか。</p>	C	<p>鹿児島駅周辺においては、計画地取得以降、連続立体交差事業を前提に駅周辺の基盤整備に向けた調査、検討に取り組んでまいりましたが、21年2月の「連続立体交差事業と土地区画整理事業の実現は、現状では困難であると考えております」との県の見解表明以降、高架化を前提としない基盤整備の方策を検討する中で旧国鉄用地を先行して利用することについて検討を進めてまいりました。</p> <p>そして、このたび、鹿児島駅周辺土地利用検討委員会での協議・検討を踏まえ、鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）をとりまとめたものです。</p> <p>民間活力の活用については、基本計画（素案）における管理運営計画のとおり、計画地の整備、維持管理・運営について、行政が行うことを基本としながら、民間活力を活用した維持管理運営等を今後検討してまいります。</p>
76	5 その他全般	<p>桜島爆発時及び災害時に活かせる避難所転換型建設計画</p> <p>※例 昔の鹿児島駅周辺といえば、屋台をイメージします。第2屋台村を設置し、大地震時等に於て、炊き出し支援利用に転換、活かせる建設計画。</p>	C	<p>基本計画（素案）では、にぎわいの創出等の観点から、イベントなど多目的に利用できる広場を設けることとしており、避難所への転換を念頭にした屋台などの設置につきましては、計画していないところです。</p> <p>なお、避難所については、現在指定している「柳町福祉館」などの近隣の避難所を活用いただきたいと考えておりますが、地域防災計画では、約1,000㎡以上の空地を地震時の一時退避場所としていることを踏まえ、計画地の避難場所としての位置付け等については今後の整備状況等をみながら、検討いたします。</p>

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
77	5 その他全般	<p>未来構想型モデル公園づくり計画 (桜の花見・緑の公園と公民館とファミリーサポートセンター一体型公園づくり計画)</p> <p>※例 全バリアフリー建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん(ベビーカー)、子ども、障がい者(車いす、電動カー)、高齢者、一般、観光客が安心して集う公園 ・犬、猫、自転車・バイクその他危険を伴う物の立入禁止 ・子どもの遊具、健康増進器具設置、日本一の公園 ・警備員の配置 他 	C	<p>「緑の空間」ゾーンにおける都市の杜については、多世代の市民や地域住民等の憩いの場、健康増進、交流の場として活用できるよう、樹木等の種類や配置、芝生広場、遊具、健康器具等の施設の配置について、今後、計画・設計等を進める中で、検討し、あわせて利用者が安心して利用できるようバリアフリーに配慮した公園整備を行ってまいります。</p> <p>また、都市公園として適切な管理に努めるとともに、その他のゾーン全体と連携した管理運営に関して今後検討してまいります。</p> <p>なお、公民館の設置については、近隣に中央公民館もあることから、ファミリー・サポート・センターについては、各市町村に1か所設置できるとなっており、現在、立地や利便性を考慮し、親子つどいの広場(なかまっち)に併設していることから、現在、増設や移転についての計画はないところです。</p>
78	5 その他全般	<p>全体を鹿児島県をイメージ、PR出来る設置計画(桜島の形、黒牛、黒豚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物、屋根、トイレ、ベンチ、ステージ、駐車場(駐輪場)など ・鹿児島偉人銅像設置、キャラクター募集 	D	<p>施設の外観や形状等については、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、検討してまいります。</p>
79	5 その他全般	<p>どうしても、素案の方向に向かうとしたら、唯一であるが希望として、「施設内及びその周辺」において、「完全禁煙」化して頂き、「受動喫煙の完全防止」ということもうたい文句に入れて頂けると、より良いのではないかと。鹿児島県内の分煙化は非常に遅れているように思える。先進諸外国においては、完全禁煙の流れであり、その先端を行って頂けたらと願う次第である。</p>	D	<p>健康増進法や国の方針を踏まえ、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、受動喫煙の防止対策等について検討してまいります。</p>
80	5 その他全般	<p>全体によいことが多く計画されているが、思わぬ例が出てくるので、小さな範囲の規定(細かな)から出発するとよいのではないかと。</p>	D	<p>今後、具体的な計画・設計等を進める中で施設の管理運営に関して検討してまいります。</p>
81	5 その他全般	<p>個々につきましては大変立派な素案が出来ている。完成した時点では1万人の完成イベントを!!上町地域の住民すべてに呼びかけ、そして市民全員はもちろん完成PRイベントが楽しみである。</p>	D	<p>今後、具体的な計画・設計等を進める中で完成時の式典等の催しについても検討してまいります。</p>
82	5 その他全般	<p>全体的におしゃれな若い人たちが行きたくなるような空間にしてもらいたい。</p>	E	<p>ご意見として承ります。</p> <p>基本計画(素案)では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、魅力的な施設となるよう取り組んでまいります。</p>

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
83	5 その他全般	あまりお金をかけることなく、現在ある上町の歴史文化ゾーンを利用して、活気あふれる上町になれるよう計画を実現して欲しい。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、土地利用の基本コンセプトを「地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成」としており、今後、具体的な計画・設計等を進める中で、効果的かつ効率的な施設となるよう取り組んでまいります。
84	5 その他全般	鹿児島島の観光資源、産業開発はまだ足りない 上町の風土は、鹿児島島の観光の目玉である チェストの風土は上町・吉野にしかない	E	ご意見として承ります。 上町地区は歴史的な風格ある街並みなど歴史・文化に恵まれた風土を有しており、本市では、それらの地域資源を生かしたまち歩きを実施するなど、観光の振興に活用してきているところであり、今後もこうした取組を進めてまいります。
85	5 その他全般	観光客及びにぎわいゾーンの利用者への案内等も兼ねた観光案内所を鹿児島駅前設置する。 1 設置目的 ①上町地区の歴史・景観・ホテル・商店街等を観光客に案内・お知らせ・情報提供を行う。 ②にぎわいゾーンで各団体が駅周辺の活性化のため、又は、この街・通りの賑わいを起こすための催しの実践場にするすることで、商店街の活力あるアイデアが生み出される。 2 施設の管理 登録団体が月交代で常駐し、市指導の下、管理・運営する。又は、登録団体が共同出資して1・2名雇用し常駐する 3 管理費（費用）等 登録している団体又は、利用する団体が電話・水道・光熱費等は支払う。 4 利用内容 ①観光案内 ②商店街・通り会・町内会等が自主立案した催しもの等の事務局 ③情報交換	E	ご意見として承ります。 観光案内所につきましては、観光客の動向なども踏まえながら、全市的な観点からその必要性を検討してまいります。
86	5 その他全般	鹿児島駅周辺へ誘う場合には立ち寄るべき魅力とセットでないと機能しないと思う。	E	ご意見として承ります。 鹿児島駅周辺地区においては、計画地等を活用するとともに、交通結節機能の強化や魅力ある新たな都市拠点の形成に向けて取り組んでまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
87	5 その他全般	全体的に、この区画周辺にある様々な都市機能との関係がよく見えなかった。緑地＋イベント広場＋駐車場という、まあ一応無難な線に落ち着いたのかなあという印象を受けた。一方でこの区画は、周囲の多くを線路などに囲まれて周囲から独立しており、なかなか利用しにくい土地でもあると思う。周辺との関係性も考慮しながら長期的にこの場所の土地利用を考えていく前段階として、まずは暫定的に活用しようとする目的であれば、本案は良いのではないかと考える。	E	ご意見として承ります。 なお、鹿児島駅周辺においては、これまで連続立体交差事業を前提に駅周辺の基盤整備に向けた調査検討等に取り組んでまいりましたが、平成21年度以降、鉄道の高架化を前提としない基盤整備の方策を検討する中で旧国鉄用地を先行して利用することについて検討を進め、鹿児島駅周辺土地利用検討委員会での協議、検討を踏まえ、このたび、鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）をとりまとめたところです。 今後は、「5-4整備計画（2）全体計画」に記載の「東西をつなぐ歩行者動線」や「計画地と鹿児島駅前広場をつなぐ接続道路」等の鹿児島駅周辺の基盤整備の実現に向けて取組みと連携しながら、様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、魅力ある施設整備に取り組んでまいります。
88	5 その他全般	将来的には、周辺の土地も含めたより広範囲の区画を一体的に捉え、 ① JR鹿児島駅や電停、駅周辺のバスとのアクセスを重視した利便性の高い交通結節点 ② ウォーターフロント地区、かごしま水族館、石橋記念公園、多賀山公園などを一体的につなぐ機能とともに、錦江湾や桜島の眺望も楽しむ憩いの機能も持ち合わせた「広域公園」的な場 などこの地区に独特の優れた特徴を柱にしつつ、一体整備を進めてほしい。石橋記念公園横のゴルフ練習場、道向かいにある広大なバス駐車場、バイパス沿いに雑然と立地する飲食店やカラオケ店などについても、郊外移転や駐車場の集約・共同化などを通じて土地利用を見直し、「憩い」の機能が充実した地区として、隣接する上町地区（歴史と居住を主とする空間）との融合や相乗効果を狙うことができるのではないだろうか。個人的には「憩い」の地区として高いポテンシャルがあると感じている。	E	ご意見として承ります。 なお、基本計画（素案）では、計画地周辺の民有地を含めた集約化等は計画していませんが、今後も「5-4整備計画（2）全体計画」に記載の「東西をつなぐ歩行者動線」や「計画地と鹿児島駅前広場をつなぐ接続道路」等の鹿児島駅周辺の基盤整備の実現に向けた取組みと連携しながら、様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園や各種イベント等で利用できる広場など魅力ある施設整備に取り組んでまいります。
89	5 その他全般	今回の土地計画と同時に進められている、鹿児島駅前広場の整備は、交通拠点となる場所だけに、交通の流れを考慮した広場になるよう期待している。また、鹿児島駅は、鹿児島本線・日豊本線の終着駅という側面を持つ。今年10月にはななつ星も停車する為、終着駅という側面をPRすることで鹿児島駅の魅力が増すのではないかと考える。	E	ご意見として承ります。 鹿児島駅前広場の整備については、現在の駅前広場付近の複雑な動線を単純化し、安心・安全に通行できるよう、鹿児島駅前交差点の信号交差点化や既存駅前広場の改修等の実現に向けて関係機関等との協議や調査検討を行っております。 今後、計画地の活用とともに、鹿児島駅周辺の交通結節機能の強化や新たな都市拠点形成への取組みにより、駅周辺地域の魅力向上に取り組んでまいります。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
90	5 その他全般	駅前広場からの接続は歩道とは別に、植栽や飛び石などを設置した道を作り、駅前広場から、楽しく自然に計画地までの人の流れができるようにする。 全体計画の中に東西をつなぐ歩行者動線とあるが、これを現駅舎と市道上本町磯線側の新たな出入口、そして計画地をつなぐ三角形のペDESTリアンデッキとするのも面白い。そして、三つの入り口の役割を、鹿児島市の玄関口、上町町民のための出入口、観光客の出入口と割り振る。計画地の出入口は、初代、もしくは二代目の鹿児島駅駅舎を復元したものにしてほしい。	E	ご意見として承ります。 なお、計画地と鹿児島駅前広場との歩行者動線については、「5-4 整備計画(2) 全体計画」に記載の接続道路及び東西をつなぐ歩行者動線の整備実現に向けて、高齢者、身体障害者等の移動に際しての身体の負担を軽減し、移動の利便性及び安全性を向上することに配慮しつつ、関係機関等との協議や調査、検討を行っているところです。
91	5 その他全般	現在の駅舎の建替えを主張しないのは、現駅舎の取り壊しには反対だからだ。今歴史あるものとして評価されているものも、その多くが当時は当たり前のものであったはずだ。 現在の駅舎について2010年3月の鹿児島駅周辺まちづくりガイドラインハンドブックでは「歴史が感じられず、地区の『顔』になっていない」と否定的に評価されている。しかし、現駅舎を取り壊して、「歴史を感じるような」新たな駅舎を作ったとしても、それは現駅舎の歴史を隠蔽した、偽物の歴史でしかない。現駅舎も、補強やバリアフリーを施した上で、例えば、外壁にスクラッチタイルを用いる、地元の建材を用いるなどすれば、十分に上町の玄関の一つとして通用すると思う。現在の駅舎ができて30年余りが経ち、この駅舎に思い出を持つ人も少なくはないはずだ。国鉄の遺産が減っている中、鹿児島駅が保存の先駆けとなるのもいいと思う。	E	ご意見として承ります。 なお、鹿児島駅周辺の整備につきましては、自由通路との接続や交通結節機能の強化等を図るための鹿児島駅駅舎を含めた鹿児島駅前広場改修、鹿児島駅前交差点の信号交差点化等の基盤整備について、現在、事業実現に向けた調査検討や関係機関との協議を行っております。
92	5 その他全般	この計画が実現すると、鹿児島駅は現駅前広場と新たな駅前広場、そして計画地の広大な施設となる。案内人を兼ねたポーター（のようなもの）を配置するべきだと思う。普段は、駅や広場、計画地周辺の清掃にあたり、無駄がないようにする。駅利用者は、構内や広場の各地点に設けられた押しボタン（ヘルプポイント）で彼らを呼び出す。その内容は荷物の運搬に限らず、道案内や介助など困ったときはいつでも頼れるようなものにするといいたいだろう。	E	ご意見として承ります。 なお、鹿児島駅の整備につきましては、計画地の土地利用と併せ、鹿児島駅前広場の改修や鹿児島駅前交差点の信号交差点化等の基盤整備について、現在、事業実現に向けた調査検討や関係機関との協議を行っております。

番号	項目	意見等の概要	処理区分	意見等に対する検討結果
93	5 その他全般	土地計画完成を見越した上で、鹿児島中央駅の観光客を鹿児島駅（城山、磯、上町、桜島に近い駅）に呼び込む仕掛けが必要。鹿児島駅までくれば、例えば、市電、JRを利用した旅行者は、割引が受けられるようにして、鹿児島駅を出発・終着駅にできないかと考える。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）においては、土地利用の方針として、緑を生かした整備とするなど「鹿児島中央駅との差別化」を図ることとしており、このことにより地域ならではの魅力的な都市拠点を形成することにより、交流人口の拡大を図ることとしております。
94	5 その他全般	陽光あふれる「向洋南進基地」としてのパンチ力が今一歩低いように感ずる。本駅周辺という言葉も死語と化しつつあるが、市電を降りると、ほのかに石炭の香の流に誘われ、SLの基地の勇姿が蘇る。当市の大発展を心から祈りたい。「市の顔」再生案が鍵となろう。	E	ご意見として承ります。 基本計画（素案）では、市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園や各種イベント等で利用できる広場等を計画しております。 今後も、様々な来街者が集い、行き交う、都市拠点の形成に向けて、取り組んでまいります。